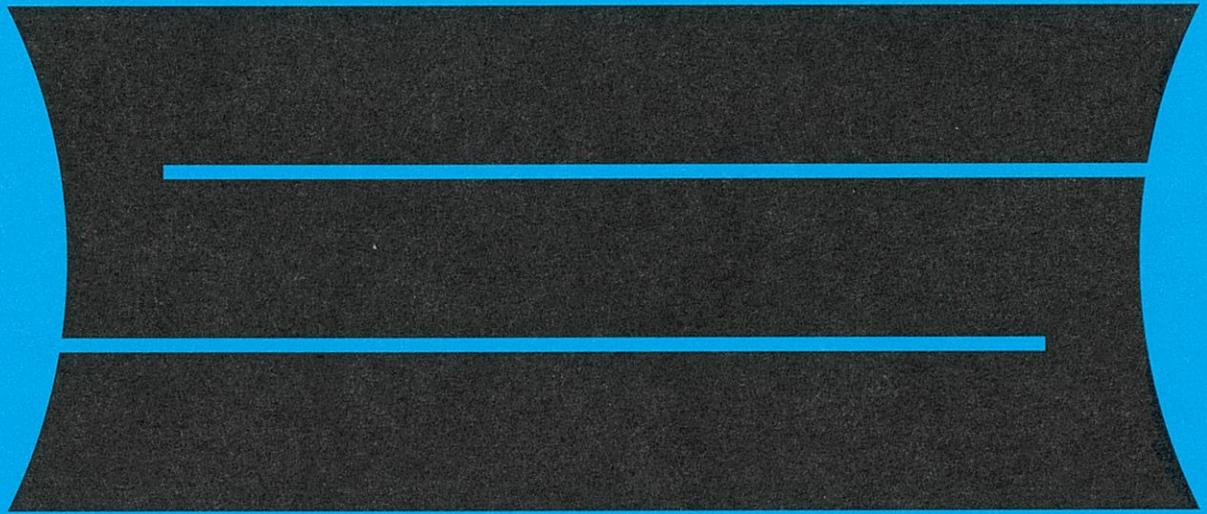


5館が五感を刺激する——

青森の5つの美術館・アートセンターがアートと青森の魅力を発信



AOMORI GOKAN



2020年に弘前れんが倉庫美術館が開館、2021年11月に八戸市美術館が生まれ変わって開館した青森県。5つの美術館・アートセンターでは、現代アートや郷土の作家の作品を堪能できます。それぞれ建築も魅力的。ぜひ5館を回ってアートと青森をお楽しみください。



A 青森公立大学国際芸術センター青森(ACAC)

周囲の豊かな自然環境を生かし、建物を森に埋没させる「見えない建築」をテーマとした建築が特徴的。アーティスト・イン・レジデンス(滞在制作)を中心に、ジャンルに捕らわれない展覧会、トーク、ワークショップなどを開催している。春から秋にかけては敷地内の森の散策や、20数点を数える野外彫刻の鑑賞も楽しむことができる。

JR奥羽本線、青い森鉄道「青森駅」からバスで約40分

青 青森県立美術館

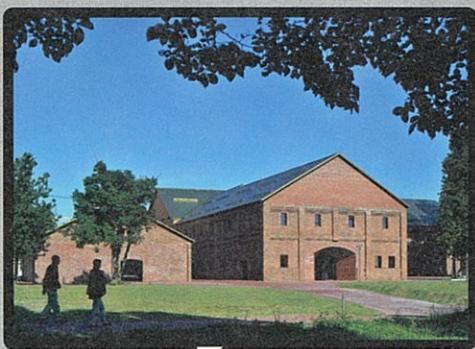
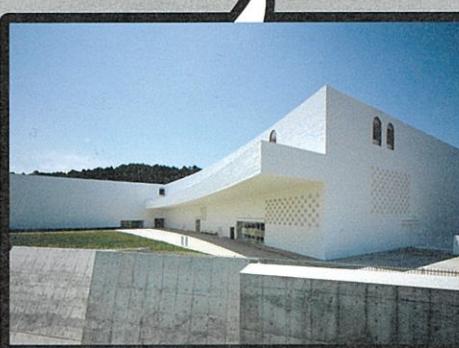
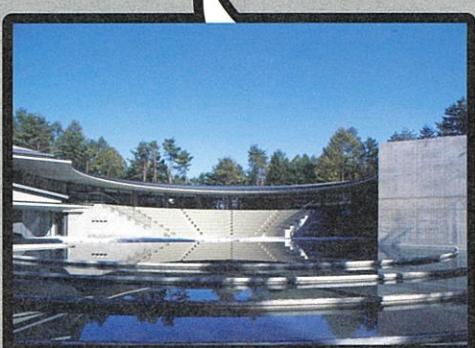
隣接する三内丸山遺跡の発掘現場から着想を得た、トレンチ(壕)とホワイトキューブからなる建築が独創的。シャガールのパレエ「アレコ」舞台背景画のほか、奈良美智、棟方志功、成田亨など郷土作家の作品を展示。日本画や洋画、現代アートまで幅広いコレクションと演劇、音楽など舞台芸術への取り組みにより、豊かな芸術の魅力を発信している。

新幹線「新青森駅」からバス又はタクシーで約10分

十 十和田市現代美術館

人間と自然をテーマに、草間彌生、奈良美智、ロン・ミュエクなど世界で活躍するアーティストらの作品を常設展示。展示室1部屋に1作品を展示することで、作品の中に入り込むような鑑賞体験ができる。大小様々な展示室がガラスの通路でつながれており、アートの家を訪ね歩くような構造が特徴的。館内だけではなく、周辺のアート広場や商店街にも作品が点在し、まち全体でアートを楽しむことができる。

新幹線「七戸十和田駅」からバスで約40分
青い森鉄道「三沢駅」からバスと徒歩で約35分



弘 弘前れんが倉庫美術館

約100年前に酒造工場として建てられた煉瓦倉庫を改修した美術館。「記憶の継承」をコンセプトに、可能な限り建物を残した。建築や地域に合わせたコミッショニング・ワークを重視し、奈良美智、ジャンニミシェル・オトニエルの作品をはじめ弘前ならではのコレクションを形成。黒いコルタールの展示壁など空間の特性を生かした現代アートの展覧会を開催している。

JR奥羽本線「弘前駅」から徒歩20分/タクシーで7分

八 八戸市美術館

様々な活動を支える巨大な空間「ジャイアントルーム」を取り囲むように、展示室などの専門性の高い個室群が配置されている。「種を蒔き、人を育み、100年後の八戸を創造する美術館~出会いと学びのアートファーム~」をテーマとし、八戸の美や文化を伝える約3,000点の収蔵作品を中心に、みんなが楽しめる展覧会やプロジェクトを開催する。

新幹線「八戸駅」からバスで20分

JR八戸線「八戸駅」から徒歩10分(「八戸駅」⇒「八戸駅」約8分)



AOMORI ART TRIP

アートと青森の魅力をより便利にお楽しみいただけるよう、【AOMORI GOKAN WEBSITE】では、アートの魅力に関する情報に加え、実際に青森に足を運んで、触れて、巡って、そして味わってみたくなるような周遊情報も随時発信していく予定です。

是非ご活用ください!!

aomorigokan.com

